

様式7

入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和2年7月28日(火) 島根大学本部棟5階大会議室	
委員	委員長 野田 素三子 (行政書士) 委員 深田 拓慶 (公認会計士・税理士) 委員 福島 薫 (弁護士)	
審議対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
抽出案件(合計)	6件	(備考)
工事(小計)	5件	<p>・今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。</p> <p>・抽出案件の審議については、担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。</p>
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	1件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	3件	
工事希望型競争入札	1件	
通常指名競争入札	1件	
随意契約	2件	
設計・コンサルティング業務(小計)	1件	
公募型プロポーザル方式	1件	
簡易公募型プロポーザル方式	1件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	1件	
標準型プロポーザル方式	1件	
一般競争入札	1件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

※ 委員からの意見・質問、それに対する回答等はできるだけ詳細に記入すること。

別 紙

質 問	回 答
<p><b>1. 国立大学法人島根大学において発注した建設工事について</b>            (施設企画課より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不落随契となった案件において、見積執行回数が多い理由について確認したい。</li> </ul> <p><b>2. 国立大学法人島根大学において発注した設計・コンサルティング業務について</b>            (施設企画課より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p><b>3. 指名停止等の措置について</b>            (施設企画課より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p><b>4. 審議対象工事及び設計・コンサルティング業結果務の抽出について</b>            (深田委員長より説明)</p> <p>※工事：一般競争方式より3件、工事：随意契約より2件、設計・コンサルティング業務より1件抽出を行った。</p> <p>いずれも、入札率、応札者数、契約金額及び予定価格等を勘案して抽出し、特に随意契約については契約金額が高いものを抽出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p><b>5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</b>            (施設企画課より工事概要について説明)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業者が見積金額を少しずつ下げたため執行回数が増えた。</li> </ul>

<p><b>(1) 一般競争方式（最低価格落札方式）</b></p> <p><b>【(塩冶)看護学科棟東側駐車場整備工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落札率が低くなったのはなぜか。</li> <li>・予定価格は適正であったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工場所と落札業者の倉庫等との距離が比較的近いことから、仮設資材の経費削減につながったと考えられる。</li> <li>・予定価格の算出については、国土交通省及び文部科学省の取りまとめた積算基準・積算要領に基づき適切に算出している。</li> </ul>
<p><b>(2) 一般競争方式（最低価格落札方式）</b></p> <p><b>【(医病)ライフライン再生（排水設備）管内カメラ調査工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競争参加資格要件の中で、土木一式工事又は管工事の認定を受けていることとする一方、工事实績としては、土木一式工事又は機械設備工事と記載しているが、管工事と記載する必要はないのか。</li> <li>・汚泥の処分は別途としているが、別途契約なのか。変更契約なのか。</li> <li>・本工事は管内洗浄やカメラ調査といった業務であるが、委託ではできなかったのか。</li> <li>・予定価格の算出はどのようにして行ったのか確認したい。</li> <li>・入札参加者が少ないのはなぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事实績でいう機械設備工事には、給排水配管等の工事が含まれているため、このような記載としている。</li> <li>・汚泥の処分が必要になった場合は変更契約の対象となる。</li> <li>・汚泥の処分が必要となった場合、汚泥の除去作業及び産業廃棄物として処分する分析調査等が必要となることを考慮し、工事案件とした。</li> <li>・専門業者3者より徴取した参考見積書を精査し、予定価格を算出している。</li> <li>・カメラ調査・管内洗浄等は特殊な内容となるため、施工可能な業者が少ないことに加え、時期的に技術職員の配置ができず参加しなかった業者があるのではないかと考えている。</li> </ul>

<p><b>(3) 一般競争方式(総合評価落札方式(実績評価型))</b></p> <p><b>【(川津他) ライフライン再生(排水設備) 工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事は、工期延長による変更契約をしているが、再度公告により工期が短縮されたためなのか。</li> <li>・工期延長により契約金額の変更はあったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事の契約時においては、年度末に完成する予定としていたが、管路更生工法が全国的に数多く発注され、職人の手配や資材納期が遅延したことから変更契約としたものであり、再度公告によるものではない。</li> <li>・契約金額に変更は生じていない。</li> </ul>
<p><b>(4) 随意契約</b></p> <p><b>【(川津) 生物資源科学部2号館改修工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事において、当初2回入札公告を実施しており、2回目の入札公告で1者が応札し不落となっているが、その際の入札回数は何回か。また、その後の随意契約に移行することができなかったのか。</li> <li>・随意契約の際、当初の設計から内容を見直したとしているが、見直した内容はどのような点なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回入札している。本学の予定価格と入札金額に乖離があり不落随意契約に至らなかった。</li> <li>・金額に乖離があったため、改めて市場調査を実施し、再度複数社から徴取した参考見積書を考慮した上で、単価の見直しを行った。</li> </ul>
<p><b>(5) 随意契約</b></p> <p><b>【(川津) ライフライン再生(防災設備) 工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事は年度末の契約となっているが、故障が年度末であったためこの時期となったのか。また、工期の設定について確認したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約2年前から防災設備機器が不安定な状況であり、松江市消防本部とも協議の上、仮設で対応していたものを、今回の工事により通常稼働させるものである。補助金の交付決定が3月中旬であったため、年度末の契約となった。また文部科学省の承認を得た後、工期延長を行う予定としていた。</li> </ul>

<p><u>(6) 設計・コンサルティング業務 (簡易公募型プロポーザル方式 (拡大))</u></p> <p>【(塩冶) ライフライン再生 (排水設備) 設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務は平成31年度の案件となっているが、前年度を跨ぎスケジュールが組まれており、前年度から実施可能なのか。</li> <li>・本設計業務と管内カメラ調査工事の関係を確認したい。また、本業務は工期延長を行っているが、管内カメラ調査工事に伴い延長する必要があったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は施設整備補助金事業であり、添付している資料9-6参考資料の簡易公募型プロポーザル方式 (拡大) による設計業務日程表のとおり、交付決定されるまでは契約の締結はできないが、それ以前の手続きにおいては実施可能である。</li> <li>・実施設計を進めていく中で、配管内の詳細な調査が必要であることが判明したため、管内カメラ調査工事の発注を行った。また、実施した管内カメラ調査工事の内容を実施設計に反映させるため、管内カメラ調査工事の完了に併せて、工期延長を行う必要があった。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------